

公益財団法人かながわトラストみどり財団様助成事業
『かなユリ・チャレンジ』プロジェクト活動報告会（秋の作業）

（社福）進和学園 & （株）研進

2019年10月1日、財団主催により「かなユリ・チャレンジ」活動報告会が、「しんわルネッサンス」（平塚市上吉沢）を会場に開催され、14名の皆様が集いました。本プロジェクトの3年目に向けて、皆様と一緒に秋の作業を実施しました。

1. 花を終えたヤマユリの苗木の球根を掘り出し観察



中庭の南側で栽培している苗木3本の内、一番大きな苗木は葉が枯れるまで残すこととし、この日、中小の苗木2本の球根を掘り起こした。何れも、前年より大きく生長している。球根の黄色を帯びた色が美しい。

2. 種子から発芽した1年目の小球根を掘り起こして確保



プランターに撒いた種子から発芽しました！ 左:2019年3月13日/右:4月11日 撮影



2018年10月、ヤマユリの種子をプランターに撒いて、翌2019年3月に発芽。船のような形をした2cm程の葉は、そのまま大きくならず消失してしまいました。もう駄目かと思っていましたが、注意深くプランターの土を広げて探してみると小球根が形成され糸のような細い根を伸ばしている状態で20粒ほど確保することが出来ました。ビニール袋にパーミキュライト（土壌改良剤）とベンレート（殺菌剤）500倍液を加えて適度に保湿した中に、上記小球根を入れて冷暗所保管します。しばらくしてからプランターに再度植え付けることとします。

3. 種子から発芽した2年目の小球根をプランターに播種し植替



2018年秋、財団より譲り受けた種子は、ビニール袋においてパーミキュライト&ベンレート500倍液による保湿状態で冷暗所に保管し栽培。昨年は発芽が認められませんでしたので、そのままの状態を保管を継続していました。

今回、再確認すると少数ですが、種子から発芽して2年目状態の「小球根」が認められました。まだ、米粒ほどに小さく、これが立派なヤマユリに生長するとはにわかには信じられません。プランターに播種して栽培を継続することとしました。



活動報告会に参加頂いた皆様と 「しんわルネッサンス」 2019. 10. 1